

×
推敲(スイコウ) 詩や文章を良くしようとして

苦心すること。唐の^{カトウ}賈島が「僧は推す
月下の門」がよいか、「僧は敲く」とす
るがよいか苦心した故事による。今、
“推考”で代用するが、これでは全く
味気ない。

遂行(スイコウ) 仕事をしとげること。よく“ツ
イコウ”と読み誤られる。

水郷(スイゴウ) 水辺の村里。特に水辺の
けしきのすぐれた有名な土地。“スイ
キョウ”とも言う。

出師(スイシ) 軍隊を出すこと。師は軍隊。
出は“だす”意味のときはスイと読む。

推薦(スイセン) 自分が良いと思う人や物を
他人にすすめること。薦はすすめる
意。今これを“推選”で代用する者が
多いが、意味が違う。

吹奏(スイソウ) 管楽器で演奏すること。

出納(スイノウ) 納は入れること。出し入れ。
支出と収入。

枢機(スウキ) 枢はとびらの回転軸の仕掛
けのこと。^{カンジンかなめ}肝腎 要のたいせつな所と
いう意味に使う。また、重要な政務を
言う。

崇高(スウコウ) 崇. は高い山。気高く、尊
いことを言う。

×
誦経(ズキョウ) 経文を暗記して読むこと。

素性(スジョウ) ①血筋。②育ち。③生まれ
つきの性質。“素姓”とも書く。①の場
合はこのほうがよい。

静穏(セイオン) 静かで穏やか。何事も起こ
らず平和なこと。

静寂(セイジャク) ひっそりと静かなこと。

×
脆弱(ゼイジャク) もろくて弱いこと。脆は脛
が誤ったもの。脛はやわらかい肉のこ

とで“もろい”意味に使われる。今の字
体では“キジャク”と読まれやすいの
で注意。

井然(セイゼン) 区画が井の字形にきちん
と整っていること。

西漸(セイゼン) 漸は少しずつ進む意。だ
んだんと西のほうに移っていくこと。

清澄(セイチョウ) 澄みきって清らかなこと
を言う。

×
贅肉(ゼイニク) 贅はこぶのこと。こぶは無
用の肉であるから、太りすぎの意味に
使う。

×
清冽(セイレツ) 冽はきびしい寒さを言う。

身がひきしまるような清らかさ。

施工(セコウ) 工事を実施すること。

絶佳(ゼッカ) きわめてよいこと。佳は優良
の意。